様式第１号（第５条関係）

令和８年７月17日

世羅町長　様

申請者
団体住所　世羅町黒渕３－２
団　体　名　津久志地区振興会連絡協議会
代表者氏名　大田　哲司

令和９年度世羅町元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書

つぎのとおり世羅町元気な地域づくり応援事業のプロジェクト認定を受けたいので、世羅町元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第５条第１項の規定により、関係書類を添えて申請します。

１．プロジェクト名称

津久志をみんなで知って！天然芝でイベントをやろうpart.5

２．補助対象事業費

400,000円

３．目標金額（補助金交付希望額）

400,000円

４．成立金額（事業の実施に最低限必要な補助金額）

300,000円

５．添付書類
（１）事業計画及び収支予算書
（２）団体の規約又は定款
（３）事業位置図・事業実施場所写真
（４）団体の構成員名簿
（５）団体の決算書・総会資料
（６）見積書（又は設計書）
~~（７）図面~~

次の点について了解のうえ申請してください。了解された場合は☑してください。
☑この認定申請は、プロジェクトの実施を希望する年度の前年度に行うものです。
　認定申請と同一年度にプロジェクトを実施することはできません。
☑年度はプロジェクト実施年度を記入してください。
☑この認定申請書等は、ふるさと納税の募集等のため、世羅町ホームページに公開します。

様式第２号（第５条・第６条関係）

事業計画及び収支予算書

１．申請団体の概要

①団体名	津久志地区振興会連絡協議会	
☑団体の規約又は定款を添付してください。		
②団体の代表者	大田　哲司	
③代表者住所、連絡先	〒722-1731　　世羅町大字世羅町大字津口 1055-1 TEL：0847（27）1569	
事務局連絡先（送付先） ＊連絡先等が異なる場合には記載してください	〒722－1732　　世羅町大字黒渕 3-2　津久志自治センター 氏名　七ッ河　克重　　TEL：0847（27）0335	
☑代表者及び事務局の住所・連絡先は公開しません。黒塗りとします。		
④設立（発足）年月	平成 16 年 3 月 14 日	
⑤構成員	会員数　500 名	うち町民　500 名
	スタッフ　3 名	
☑構成員名簿を添付してください。（構成員名簿は公開しません。） ☑5 人以上で構成される団体が補助対象団体となります。 ☑町内に住所を有する者が構成員（会員）に複数名必要です。		
⑥設立目的・趣旨	地域住民の自治能力向上と津久志の発展および活性化を図るため設立。	
⑦主な活動分野 （特定非営利活動分野から３つ以内でチェックを入れてください）	□①保健・医療・福祉　□②社会教育　☑③まちづくり ☑④文化・芸術・スポーツ　□⑤環境保全　□⑥災害救援 ☑⑦地域安全　□⑧人権・平和　□⑨国際協力 □⑩男女共同参画社会　□⑪子ども健全育成　□⑫情報化社会 □⑬科学技術　□⑭経済活動　□⑮職業能力開発・雇用機会拡充 □⑯消費者保護　□⑰その他（　　）	
⑧過去１～２ヵ年の主な活動実績、年間事業規模、今後の取組み予定	（一昨年度） ・津久志地区体・文化祭・敬老会の運営など ・「天然芝まつり」（広島 3 大スポーツ選手を招いた秋まつりイベント）（世羅町元気な地域づくり応援事業）	
	（昨年度） ・文化祭・敬老会の運営など ・「地元出身者を巻き込んだ！津久志夏まつり」「天然芝まつり」（サッカー教室）（世羅町元気な地域づくり応援事業）	
	（今後の取組み予定） 津久志地区年間行事の運営（地区体・夏まつり・文化祭・敬老会など）世羅町広報の配布など地域住民との交流を積極的に行い、身近な課題解決および地域文化の継承に努める。 天然芝グラウンドを舞台とした、町内外の多様な世代が一体となれるスポーツ＆交流イベントを継続開催。これにより、津久志地区の魅力を広くアピールし、地元出身者の帰省や関係人口の拡大を促進する。	
☑新型コロナウイルス感染症の影響により、過去２年間の主な活動実績がない場合、過去５年以内の主な活動実績などを記載してください。		

２．事業計画

①プロジェクト名称	津久志をみんなで知って！天然芝でイベントをやろう part.5	
☑プロジェクト名称はふるさと納税等を募集する際にも使用するため、簡潔で分かりやすい名称としてください。		
②このプロジェクトに取り組む理由	津久志地域を「みんな」に知ってもらいたい！ 地域住民と他地域の方が交流できるスポーツイベントを開催しよう！ 津久志地区は、年々深刻化する人口減少と過疎化、超高齢化に直面しています。この状況に一石を投じるため、当地区の誇る「津久志自治センターの天然芝グラウンド」を活用し、令和 5 年度から元気な地域づくり応援事業によるスポーツイベントを重ねてきました。結果として、多くの子どもたちやその家族を呼び込むことに成功し、「津久志＝天然芝スポーツ(サッカー)」のイメージは確実に定着しつつあります。 令和 9 年度（part.5）は、これまで培ってきた「サッカーなどの専門スポーツ」という枠組みからさらに一歩踏み出し、「地域内外のあらゆる世代が対等に混ざり合って楽しめるマルチスポーツ＆交流」を目指します。具体的には、本格的なスポーツ経験がない方や高齢者、子ども、さらに町外からの訪問者が同じ天然芝の上で手を取り合える軽スポーツやレクリエーションを軸とした企画を行います。 地元住民と町外の参加者、世羅高生やボランティア、地元出身者が一体となってイベントを作り上げ、交流することで、津久志の“人の温かさ”と“環境の素晴らしさ”をアピールします。「外から、中から、みんなで地域を元気に」し、将来的な合宿誘致や交流人口の定着に向けた強固な関係人口基盤を築くため、本プロジェクトに挑戦します。	
☑社会的背景や地域の現状を踏まえて、プロジェクトの必要性や目的など記載してください。		
③実施場所及び効果の及ぶエリア	実　施　場　所	世羅町大字黒渕 3-2　津久志自治センター
	効果の及ぶエリア	世羅町津久志地区および周辺地域
☑具体的な施設整備やイベントを行う場所の分かる地図・写真を添付してください。 ☑必ずしも町内で実施する必要はありませんが、効果が町内に及ぶことが必要です。		
④実施予定期間及びスケジュール	令和 9 年 4 月 20 日　～　令和 10 年 2 月 28 日	
	4 月～6 月	「津久志天然芝まつり実行委員会」の立ち上げ。世羅高校や協力団体との企画会議。
	7 月～9 月	天然芝グラウンドのコンディション整備。町内外へのイベント周知・参加者募集、地元出身者へのダイレクト PR。
	10 月～12 月	10 月秋期：「津久志天然芝マルチスポーツフェス＆おもてなし秋まつり」の開催。 11 月～12 月：アンケート集計、振り返り、実績報告書の準備。
	1 月～2 月	事業完了および実績報告の提出（2 月末必着）
☑プロジェクトの実施年度は申請年度の翌年度になります。 ☑概ね四半期毎のスケジュールを記載してください。 ☑2 月末までの事業完了・実績報告が必須となります。		
⑤実施内容	以下①～⑥を実施 ①「天然芝マルチスポーツフェスティバル」の開催 ・特定の競技（サッカー等）に限定せず、誰もが気軽に芝生の上で体を動かせるニュースポーツ（ボッチャ、モルック、ターゲットバードゴルフ等）や、多世代混合でのレクリエーション大会を行います。 ・専門指導員や講師を招き、正しいルールや楽しさを学びつつ、体を動かす喜びを共有します。 ②「おもてなし芝生秋まつり」の同時開催 ・猛暑を避けた秋期に開催し、キッチンカーの誘致や、地域住民・地元農家が顔	

	の見える形で出店する「津久志産直市」を設置し、地場産品（野菜、梨、トマト、米、茶葉等）の魅力をアピールします。 ・地元出身者や町外関係者へ活動チラシを郵送し、里帰りを兼ねた参加を呼びかけます。 ③世羅高校生や他地域の方との協働 ・世羅高校の生徒や、外部の若者ボランティア、アルバイトを広く募集。地元出身者を含め、他地域からイベントに関わっていただく。アルバイトやボランティアとイベント内容を一緒に検討し運営に関わってもらうことで、津久志地区により興味をもっていただける。 ④「地元のおもてなし作品」等の作成 ・地元の高齢者サロンや女性会、振興会メンバーで手作りの看板などを作成し、イベントを盛り上げる。温かみのある空間で“人の魅力”を演出します。 ⑤グラウンド整備 ・古い設備の修繕も実施し、利用しやすい場所となるよう整備する。
☑具体的な建物、モニュメント等の施設整備内容やイベント等の開催内容などを記載してください。 ☑プロジェクトの進め方や実施方法（活動地域・対象者）など、確実な実施ができるかも記載してください。 ☑プロジェクトへの地域の住民・企業等の参画の度合いなど、地域を巻き込む取組みを記載してください。 ☑プロジェクトのアピールポイント（活動の独創性・工夫している点・熱意）なども記載してください。	
⑥プロジェクト実施翌年度以降の取組み	○継続的なスポーツイベント等の開催を見据え、次回以降は参加費の徴収や協賛・物品販売などの自主財源確保モデルを検証・導入します。 ○構築した関係人口（参加者・ボランティア・地元出身者）とのつながりを維持するため、SNS やインターネットを用いた日常的な情報発信を強化します。 ○将来的には「天然芝グラウンド」をスポーツ合宿地やレクリエーションの拠点として町内外に売り込み、長期的な訪問者・滞在者の増加を促進します。 今後も若い世代の流入により新しい地域づくりを推進していきたい。
☑整備した施設等の活用方法や、イベントや取組みなどの翌年度以降の継続性などを記載してください。 ☑自立的な活動の継続が期待できる取組みかどうかがポイントとなります。	
⑦実施効果	**【地域内効果】** 若者から高齢者まで、地域住民がそれぞれの役割（企画・運営、おもてなし作品作り、産直市等）を持って参画することで、地域コミュニティが活性化し、地元の誇りを取り戻します。 **【地域外効果・波及効果】** 誰もが参加しやすいイベントにすることで、これまでスポーツに関わりの薄かった層や近隣市町からの新規訪問者が増加します。イベント運営を協働する世羅高校生や他地域のボランティア、里帰りした出身者が「津久志のファン」となり、将来的に過疎地域を守り育む強力な「関係人口」へと昇華します。
☑地域の課題解決につながる効果を具体的に記載してください。 ☑町内の他の地域への波及効果も記載してください。 ☑町の魅力を町外に広く発信するなど町外への効果もあれば記載してください。 ☑団体等の利益が発生する場合には、地域の利益が上回ることを具体的に記載してください。	

３．収支予算

【①支出】

区　分	内　　訳	金　　額
報償費・旅費	マルチスポーツ（ニュースポーツ）指導講師への謝礼・交通費※概算・見積書なし	60,000
報償費	ステージ、アトラクション等の出演団体謝礼（２団体）	60,000
賃金	アルバイト料　6,000 円/1 日 5 時間×5 人	30,000
委託料	会場・イベントの一部企画運営委託費（町内団体等との協働推進）	50,000
需用費・食糧費	弁当代(町内飲食店へ金額指定で依頼) ※概算・見積書なし 講師：2,000 円×2 名=4,000 円 スタッフ：1,000 円×30 名=30,000 飲料代：2,280(24 本)×3 箱=6,840 円 ケータリング料：30,000 円	70,840
需用費・印刷製本費	イベント告知ポスターA3 サイズ 10 枚 2,592 円 イベント告知チラシ A4 サイズ 1,000 枚 5,533 円	8,125
需用費・消耗品費	講師への謝礼・イベント参加賞（地元の生産者へ値段を指定して準備いただく）※概算・見積書なし 米(10,000 円分)たまご(30,000 円分)梨(20,000 円分)野菜(10,000 円分)茶葉(10,000 円)	80,000
役務費・通信運搬費	チラシ郵送　切手代 110 円×100 名=11,000 円	11,000
需用費・消耗品費	芝整備 芝肥料　3,580 円×4=14,320 円	14,320
需用費・消耗品費	ベニヤ板　398 円×5＝1,990 円 模造紙　525 円×5=2,625 円 石灰　998 円×5＝4,990 円 その他雑貨　6,110 円	15,715
合　　計		(a)　400,000

【②収入】

(補助対象経費算出)

区　分	内　　訳	金　　額
参加費等		(b)　0
補助対象経費	(a) -(b)	(c)　400,000

(目標金額)　＊目標金額は補助金申請額で、補助金の上限となる額です。

区　分	内　　訳	金　　額
目標金額（補助金申請額）		400,000
自己資金（会費など）		0
その他（寄付、利息など）		0
合　　計		(d)　400,000

（成立金額）＊成立金額はプロジェクトの実施に最低限必要な金額で、下回った場合には補助金は交付しません。

区　分	内　　訳	金　　額
成立金額		300,000
自己資金（会費など）	振興会活動費（自主財源）	100,000
その他（寄付、利息など）		0
合　　計		(d’)　400,000

☑参加費を徴収するイベントなどは参加費相当額を補助対象経費から除きます。ただし、参加費相当額を確認するため、支出には参加費相当額も含めた金額を記載してください。

☑「区分」の欄には、講師等謝金、旅費、印刷製本費、委託料、備品購入費などを記載してください。

☑「内訳」の欄には、収入及び支出毎の概要（積算根拠など）を記載してください。

☑金額の根拠となる書類（カタログ、見積書等）を添付してください。

☑建物の整備などの場合は、図面を添付してください。

☑目標金額、成立金額は 20 万円以上 1000 万円以下の範囲で、千円単位で記入してください。

☑ (c)と (d)・(d’)は、必ず一致させてください。

☑本様式を元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第 6 条に基づく補助金交付申請の際に使用する場合は、(成立金額)の表への記入は不要です。

４．確認事項（次の事項を確認し、☑してください）

☑①　元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱ならびに元気な地域づくり応援事業補助金申請要項の内容を順守したうえで、本申請を行います。

☑②「元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書」並びに添付書類の記載内容は真実であり、虚偽の内容はありません。

☑③　個人情報について次の事項に同意します。
・申請書、変更申請書、実績報告書および添付した資料に記載されている事項は、当事業の運営に必要な範囲で、審査会委員や世羅町が取得・利用すること、また、ふるさと納税の募集や結果を公表するため、これらの情報が世羅町ホームページ等に公開され、マスコミ等一般に公開されること。
・公開審査会の際に、提出された書類を基に作成した申請内容要約書を一般に配布すること。

☑④　申請内容について、詳細な情報・資料を求められた場合は提供します。

☑⑤　各種法令等を遵守し、申請内容を必ず実施します。申請したプロジェクトが成立したにも関わらず、事業を実施しなかった場合は、成立通知書を受け取った日の属する町の会計年度及び翌会計年度にこの補助金の申請をすることができないことを了承のうえ、申請します。

☑⑤　本事業により整備した施設等の財産は適正に管理します。また、整備後５年間は、補助目的・申請内容に沿って使用します。

上記の点、確認しました。

団体住所　世羅町黒渕 3-2
団　体　名　津久志地区振興会連絡協議会
代表者氏名　大田　哲司　㊞

・個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）に基づき、申請者の個人情報は本事業を遂行するために必要な範囲に限定して利用します。

【自由記述】プロジェクトに対する意気込みなど、自由にご記入ください。

令和 5 年度からの 3 年間、元気な地域づくり応援事業を活用してサッカー教室や大規模なスポーツフェスティバルに挑戦してきました。その結果、町内外のたくさんの子どもたちや保護者の方が笑顔で芝生を駆け回る「生き生きとした津久志」の姿を、地域のみんなで見ることができました。
4 年連続となる令和 8 年度には念願だった地元お祭り要素との融合を果たし、地元出身者にも地域の元気を届けられる仕組みへと進化させます。

そして令和 9 年度は、さらに多くの方へ津久志の魅力を届けるため、「誰もが天然芝の上で出会い、主役になれるマルチスポーツイベント」へとアップデートします。若い世代や地区外の協力者と地域住民が力を合わせることで、さらに深い信頼と関わりが生まれると確信しています。「津久志の天然芝グラウンド」を核として、これからも仲間たちと共に、この素敵な地域を守り、次世代へ継承していける地域づくりに、熱意を持ってチャレンジし続けます！

◎最後にチェックしてください。申請書類・添付書類に漏れはありませんか？

☑	内容（【必須】となっているものは必ず提出が必要）	公開・非公開
☑	【必須】元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書（様式第 1 号）	公開
☑	【必須】事業計画及び収支予算書（様式第 2 号）	加工公開
☑	【必須】団体の規約又は定款	公開
☑	【必須】事業位置図・事業実施場所写真	加工公開
☑	【必須】団体の構成員名簿	非公開

☑	【必須】団体の決算書・総会資料	非公開
☑	【必須】見積書（又は設計書）	非公開
□	図面（施設整備が伴う場合は必須）	公開

＊公開とされているものはホームページで公開します。加工公開とされているものは、一部加工したうえで公開します。

＊著作権等のため、公開としているものも加工することがあります。

＊申請者が希望された場合、非公開としているものも加工のうえ公開する場合があります。

＊書類は可能な限り電子データでも提出してください。

＊書類は公開審査会でコピーを配布する場合があります。